

家庭状況調書 記入要領

家庭状況調書は、同居・別居を問わず生計を一にする方全員について記入する。
市役所への届出は別世帯であっても、同居している方（祖父母やその他の家族）は全て同一生計として取り扱いします。

- ・就学者以外の生計を一にする家族を記入する。
- ・主たる家計支持者の続柄を記入する。
- ・別居者がいる場合、続柄に×印をつける。
- ・父又は母が死亡・生別の場合は、氏名欄を()とし、その年月等を「特別控除関係」欄に記入する。
- ・独立生計者の配偶者は、「父」の欄を「妻(夫)」と訂正のうえ記入する。
- ・無職の場合、職業欄は空欄にせず「無職」と記入する。
(アルバイト収入のある方は無職とはしません。)

- ・「収入状況」欄は、平成29年分(1月～12月)の所得を記入する。
ただし、平成29年1月以降に転職・就職・開業した場合は、年間の所得見込額を(様式4又は7)により記入する。
- ・年金は、最新の年額を(様式6)により記入する。
(支払通知書による1回の支払額×年間支払回数＝最新の年額)

30 後半期分 授業料免除 (10月現在)

主たる家計支持者 父

同居の家族は同一生計とします。同居の祖父母等も含まれます。

別居者に×

年齢・職業・現在の雇用の開始年月も記入する。

太枠欄は、大学認定のため記入しないこと。

氏名(フルネーム)		年齢	現在の職業 現在の雇用の開始年月	給与所得の計 (税込)(千円)	給与所得以外の 所得(税込)(千円)
本人	岡大 春男	20		15	20
就学者(右欄を除く家族)	父	岡大 夏男	52 食料品小売業・農 H2年4月～	25	記入しない。
	母	(岡大 松子)		35	40
	姉	岡大 竹子	25 会社員 H19年4月～	45	50
	祖父	岡大 秋男	76 無職(年金受給)	55	60
	祖母	岡大 梅子	73 無職	65	70
				75	80
				85	90

区分	続柄	収入状況						
		本人 (千円)	父 (千円)	母 (千円)	姉 (千円)	祖父 (千円)	祖母 (千円)	備考
給与所得(注1)	給料・賃金				2,735			
	役員報酬							
	専従者給与							
	年金・恩給					520	なし	
	失業給付金							
計				2,735	520			
給与所得以外の所得(注2)	商・工業	2,710						
	農・林・漁業	412						
	家賃・地代							
	利子配当							
	その他の雑所得	380						
計	380	3,122						

注1 給与所得は、前年1年間の収入金額(源泉徴収票の支払金額等)を記入すること。(千円未満切捨て)
注2 給与所得以外の所得は、前年1年間の収入金額から必要経費を控除した額を記入すること。ただし、臨時所得は、申請前6か月間の収入金額を記入すること。(千円未満切捨て)

●平成29年分 給与所得の源泉徴収票(一部分)

支払を受ける者	住所又は居所	区分	氏名	受給者番号
	津山市駅前町〇〇-〇		岡 竹子	58-300
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収額
給与	2,735,000	2,151,000	1,907,500	243,500
控除対象配当の有無	配偶者特別控除の有無	扶養親族の数の控除額	障害者等の控除額	社会保険料等の金額
△	○	0	0	275,000
配属者の合計所得				0円
個人年金保険料の金額				0円
長期損害保険料の金額				0円

この欄の金額を「給与所得」欄に記入する。

●平成29年分の所得税の確定申告書(第一表の一部分)

事業	①	2710000
農業	②	412000
不動産	③	
利子	④	
配当	⑤	
給与	⑥	
雑	⑦	
合計	⑨	3122000

この欄の金額を「給与所得以外の所得」欄に記入する。

家庭状況調査 記入要領

(様式 1-②)

本人	通学区分	※115 1:自宅 2:自宅外 3:親戚宅 他			前年度奨学金 受給額(千円)	大学認定欄			
	奨学金 受給状況	日・学生支援機構・学金 1:一種 2:二種 3:併用:給付奨学金 月額(81)千円×(12)月 4:その他の奨学金(貸与・給付) 名称() 月額()千円×()月		29 年度	日本学生支援機構奨学金※ 1:一種 2:二種 3:併用 月額(51)千円×(12)月 4:その他の奨学金(貸与・給付) 名称(000奨学金) 月額(30)千円×(12)月	117			
就学者 (高校生以上は在学証明書を提出のこと)	続柄	氏名(年齢) 学校名(学年) 岡山大学の学生は学生番号も記入	設置区分	学校種別	通学区分				
	兄	岡大 冬男 (22才) 岡山大学・法学部 (03427XXX) (4年)	※121 1:国立 2:公立 3:私立	※122 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※123 1:自宅 2:自宅外				
	妹	岡大 花子 (18才) 〇〇専門学校 (1年)	※129 1:国立 2:公立 3:私立	※130 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※131 1:自宅 2:自宅外				
		()才 ()年	※137 1:国立 2:公立 3:私立	※138 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※139 1:自宅 2:自宅外				
		()才 ()年	※145 1:国立 2:公立 3:私立	※146 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※147 1:自宅 2:自宅外				
特別 控除 関係	母子・父子 世帯	状況	左欄の状況となった時期		201	0:非該当 1:該当			
	障がい者 のいる世帯	続柄 障害者手帳等の番号	障害年金の有無		202	1:有 2:無 1:有 2:無			
	長期療養者 のいる世帯	続柄 療養期間 療養種別	療養費年額(円)		203	年額合計(千円)			
	主たる家計支持者 が別居の世帯	続柄 別居先の住所及び開始時期	特別に支出した金額(円)		208				
火災・風水害等の 被災世帯	被災年月日	被災内容	被害額(円)		213				
大学 認定	家族数	独立生計	生活保護世帯	学力	申請区分	非・課税世帯	多子世帯	養護施設世帯	辞退
	218	221	222	223	224	225	226 ※ 子供(18歳未満の 又は(奨学金)が本人または 本人以上の世帯(18歳以上 の奨学金(個人含む)も、 収入がない人は18歳未満 未満の子として扱う。	228	227

自宅通学者及び独立生計者は、「1:自宅」
アパートや寮を借りて生活する者は、「2:自宅外」

今年度受給する奨学金(予約採用を含む)、昨
年度に受給した奨学金に○をつけ、1~3の合計と、
4の受給金額を記入する。
日本学生支援機構以外の奨学金については、名
称も記入し、貸与か給付に○をつける。

【就学者】 ページ下段を参照のこと

兄弟等が岡山大学に在学の場合：
学部(研究科)及び学生番号を併記する。

父又は母が死亡・生別の場合：
死亡・生別の父又は母を「就学者を除く家族」欄
に記入の上、この欄にも記入する。

障害者手帳や医師の証明により記入する。

長期療養者とは、診断書(様式10-①)により申
請時現在治療中で6か月以上の療養期間を要する
と認められる方です。
療養費年額は免除申請月からさかのぼって1年
間の療養費を領収書等(様式10-②)により合計し
て記入する。

主たる家計支持者が単身赴任により別居のため
に特別に支出している住居費及び光熱・水道費の
実費を免除申請月からさかのぼって1年間分を領
収書により合計して記入する。なお、会社負担が
あるときは、その差額の合計となる。

各半期の開始前1年以内に火災・風水害等により被害を受けたために将来支出が増
大したり収入が減少して、長期にわたり著しく困窮状態におかれると認められる場合
は、次により金額を記入する。

- 日常生活を営むために必要な資材に被害を受けた場合：
最低限の衣料、家具の購入費、修理費等
- 生産手段(田、畑、店舗等)に被害を受けた場合：
長期にわたって収入減が予想される年間金額

*単に被害額や復旧費をそのまま記入するのではない。

【就学者】とは、
小学校・中学校(特別支援学校を含む)、高等学校(通信制・専攻科・別科を含む)、高等専門学校(専攻科を含む)、
大学(大学院・別科・専攻科・通信教育部を含む)及び専修学校(高等課程・専門課程)に在学している方をいいます。
水産大学校、農業大学校、職業能力開発大学校、防衛大学校等、専修学校生(一般課程)、研究生、科目等履修生、
補習科生、「各種学校」に分類されるもの(予備校・語学学校等)は就学者に該当しない。
ただし、専修学校(専門課程)の認可を受けている農業大学校は就学者に該当します。
※ 前半期分を申請する場合、3月卒業(見込)及び4月入学(見込)の兄弟姉妹等に注意すること。
※ 10月の状況が未定の場合は、見込みの状況を鉛筆書きにし、決定後速やかに届け出ること。